

たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

先生、わたし部屋に帰って本は開いたんです。でも…

担任として最後に修学旅行に行ったのはもう24年も前のことです。京都を巡り、京都泊で第二日が奈良、大阪と船穂小学校と同じルートでした。子どもたちも元気でけがもなく第一日を終えたのですが、バスのガイドさんが少し大変でした。研修期間を終え乗務を始めたばかりということもあり、八坂の塔などは通過した後で「もうすぐ路地の間から三重の塔が…」といった調子でした。でも、子どもたちとはすごくうちとけて、まあ、これもありかなと思っていました。宿舎の近くでバスを降りたとき、「明日もわたしがご案内します。よろしくお願ひします。」「えー、あしたもかよ。」と声が出そうになりました。「わたし、奈良と大阪のガイド、初めてなんです。今晚、本を読んで勉強してきます。」うーん、とっても不安！

次の日、空は青く澄み渡り絶好の天気、「ありがとうございます。」と大声で宿舎の皆さんにあいさつをして、第2日の出発。バスに着くと昨日のガイドさんが待っていました。でも、ちょっと様子がおかしい。「先生、わたし昨日、部屋に帰って本は開いたんです。でも疲れていてそのまま眠ってしまって、気付いたら朝だったんです。だから…」ガイドさんは子どもたちの前で泣き出してしまいました。やれやれまいったなあ！

修学旅行には何度も来たんだし、下調べも子どもたちとしてきたし何とかなろうと思ひ、「ガイドさん、ガイドはわたしがします。ガイドさんは子どもたちと一緒についてきてくれたらいいです。」と言いました。「宇治平等院鳳凰堂に着きました。皆さん十円玉は用意できていますか。建物の中央に丸いものがあるでしょう。十円玉には彫られていませんが、実は円い窓の向こうに仏像の顔が見えるんです。」「ここからだ、村人も仏像を見ることができたでしょう。さあ、みんな村人になって仏像をながめましょう。」などと調子よくいきました。ガイドさんは奈良公園では児童の黄色い帽子をかぶせてもらって大喜び。子どもと一緒に！まあ、高校出たばかりだからしかたがないか。

法隆寺に着きましたが、昼食の場所がわかりません。こればかりはガイドさんでないと知らない。うろうろしていると、添乗員さんが血相を変えてやってきて「何をやっているんだ、他の学校はもう食事を始めている。しっかりしろ。」と叱りました。それを聞いて「ガイドさんは初めて奈良に来てがんばっているんです。それをいきなり叱るなんてひどすぎます。ガイドさんに謝ってください。」女子がくっかかりました。ガイドはがんばったらんよ。気の毒なのは添乗員の方だと思ひましたが、ガイドさんをかばう子どもたちのやさしさがうれしくてわたしは黙っていました。

大阪城の見学を終え、新大阪の駅が近づいてきました。ガイドさんがマイクをとり「今日はとても楽しかったです。ガイドになって一番楽しい日でした。もうやめようかと何度も思ひましたが、皆さんと会えてガイドを続けていく勇気が出ました。皆さんのこと決して忘れません。」と言い大泣きをしました。子どもたちもガイドさんの言葉に動かされ泣き出しました。わたしのほほにも涙が伝いました。二日間をともに過ごした皆にとって忘れられない最高の修学旅行になりました。

来週の修学旅行とても楽しみです。

